

— 関係部課にご回覧下さい —

役 員	部 長	課 長	係 長	係 員

平成27年度

中小企業技術者研修

メカトロ技術研修 受講案内

期 間 平成27年 6 月～10 月

〈特 色〉

- (1) 電気－機械技術の基礎科目を修得し、幅広く各分野に対応できる技術者の養成を目指しています。
- (2) 自動制御の基礎理論をはじめ、メカトロニクス技術に必要なセンサ技術、アクチュエータ、シーケンス制御、電子回路などを分かりやすく解説します。
- (3) マイコン制御、シーケンス制御、C A E の基礎、アナログ回路、電磁ノイズなどについて実習を行います。

主 催 名古屋市 ・ (公財)名古屋産業振興公社

《研修生募集要項》

研 修 の 目 的	中小企業者またはその従業員に対し、技術に関する基礎理論、応用知識及びこれに関連する必要な研修を実施することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とします。
研修期間と時間	平成27年 6 月17日～10月21日 原則として毎週水曜日（8月5日、12日は夏休み） 午前9時30分～午後4時30分（昼1時間休憩） 講義51時間、実習45時間 計96時間
研 修 場 所	名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
募 集 人 員	20名
受 講 対 象	広くメカトロ技術の基礎を習得したい方
受 講 料	57,240円
修 了 証 書	所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より修了証書が交付されます。
申 込 方 法	受講希望者は添付の受講申込書、または http://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/giken.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより 6月3日(水) までに下記にお申し込み下さい。本研修の目的に合うと認められる方から申し込み順に定員まで選考し、開講日時などについてご連絡します。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承下さい。 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 電話〈052〉654-1653 FAX〈052〉661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp
受 講 料 の 納 入	受講決定通知の際、受講料の 請求書 を同封しますので、指定期日までに納入して下さい。
そ の 他	○納入された受講料の払戻しはいたしません。 ○講義日程等は変更することがあります。 ○研修中の事故については、一切責任を負いません。 ○本研修を受講された研修生の事業主に対して、 <u>要件を満たす場合</u> 、「キャリア形成促進助成金」制度の利用ができます。 ＜厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室 TEL 052-688-5758へお問い合わせください。＞

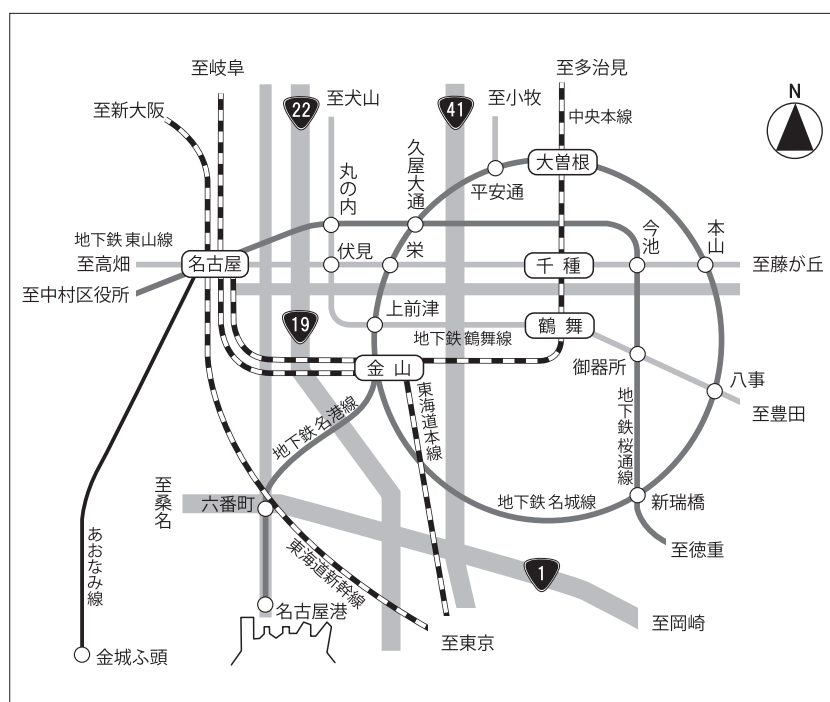
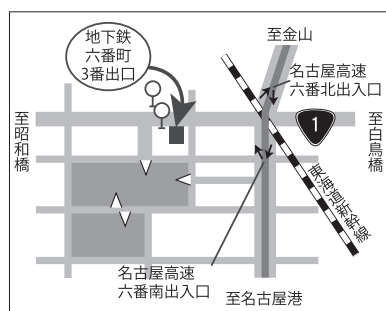
《研修科目と講師》

科 目	時 間	講 師	主 な 内 容
制 御 概 論	6	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 山 田 博 行	制御工学の基礎、特に古典制御を中心に詳しく説明します。
シーケンス制御の基礎	6	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 井 谷 久 博	リレーシーケンス制御と無接点シーケンス制御の基礎を詳しく説明します。
シーケンス制御の応用	3	三菱電機(株) 名古屋製作所 FAシステム第一部 メルセックテクニカルセンタ 専任 正 親 功	PLCを導入する際の設備設計、保守に関する注意事項についてトラブル事例を交えて説明します。
電 気 回 路	3	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 間 瀬 剛	電気回路の基礎について説明します。
電 気 要 素	3	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 林 幸 裕	電気要素として、抵抗やコンデンサなどの受動素子、鉛フリーはんだについて説明します。
電 子 回 路	3	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 吉 村 圭二郎	電子回路（トランジスタ、オペアンプ）の基礎について説明します。
インターフェイス技術	3	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 奥 村 陽 三	センシングにより得られるデジタル信号の処理とコンピュータへの信号処理を解説します。
メカトロ用センサ	6	名古屋市工業研究所 電子技術研究室 小 田 究	位置、力、圧力、温度、磁気などメカトロで用いられるセンサについて、応用例を主体に説明します。
ビ ジ ョ ン セ ン サ	3	名古屋市工業研究所 プロジェクト推進室 八木橋 信	画像を利用したセンサの基礎と応用事例について説明します。
電気アクチュエータ	6	足利工業大学 元日本電産サーボ(株) 坂 本 正 文	アクチュエータとしてのサーボモータ、ステッピングモータについて、その構造や使用方法、制御方法、それに用途と応用例などを解説します。
機 械 要 素	6	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 児 島 澄 人	ねじ、歯車、ばね、カムなどの自動化機構のメカニカル要素について説明します。
C A E の 基 礎	6	(株)構造計画研究所 SBDソリューション部 戦略マーケティング室 森 光 寛 名古屋市工業研究所 生産システム研究室 村 田 真 伸 電子技術研究室 岩 間 由 希	設計時に使われるCAEの基礎について説明し、実習を行います。
ローコストオートメーションの進め方	3	ブラザー工業(株) 生産技術部 生産技術1グループ プロフェッショナル・エンジニア 坂井田 和 一	中堅技術者が自動化を進める上での基本的な考え方、LCA（ローコストオートメーション）の進め方を事例を含めて解説します。

科 目	時 間	講 師	主 な 内 容
マイコン制御	21	名古屋市工業研究所 プロジェクト推進室 八木橋 信 電子技術研究室 白川 輝幸 岩間 由希 村瀬 真 計測技術研究室 奥村 陽三	マイコンを利用した応用回路について、回路構成・動作の解説、および制御・プログラミングの実習を行います。
実 習 (アナログ回路)	6	名古屋市工業研究所 生産システム研究室 月 東 充	オペアンプを用いた回路についての説明と実習を行います。
(電磁ノイズ)	3	名古屋市工業研究所 電子技術研究室 白川 輝幸	シミュレータを用いて、電磁ノイズの説明と実習を行います。
(シーケンス制御Ⅰ)	6	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 井谷 久博 吉村 圭二郎	PLCトレーニングキットを用いたシーケンスプログラミング実習を行います。
(シーケンス制御Ⅱ)	3	名古屋市工業研究所 支援総括室 高橋 文明 計測技術研究室 間瀬 剛 電子技術研究室 小田 究 生産システム研究室 近藤 光一郎	PLCおよびリレーを用いた論理回路によって、空気圧のシーケンス制御を行います。

交 通

- 地下鉄 名港線「六番町」下車 3 番出口すぐ
- 市バス「六番町」下車すぐ
- 三重交通バス「名鉄バスセンター」3 階から乗車し「熱田六番町」で下車すぐ
- 名古屋高速 4 号東海線「六番北」「六番南」出口すぐ



連絡先

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
 電話 〈052〉 654-1653 F A X 〈052〉 661-0158
 URL <http://www.nipc.or.jp>

受講申込書

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社
ものづくり人材育成課

F A X 052-661-0158

平成 年 月 日

平成 27 年度中小企業技術者研修の下記コースに受講を申し込みます。

「メカトロ技術研修」

(ふりがな)
受講者氏名
(ふりがな)
会 社 名
(ふりがな)
代表者役職・氏 名
〒
会社所在地
電話
FAX
ホームページ アドレス

受 講 者 連 絡 先 (上記会社所在地と異なる場合、勤務地・工場名等を記入)	〒		連絡責任者氏 名	
	電話 FAX E-mail		連絡責任者 所属・役職	
受 講 者 所 属 (部 課)			業 種 (下記一覽参照) ・ 主要製品	
受 講 者 担 当 業 務				
受講者これまでの従事業務 及び年数 (技術的業務を記入)	従事業務名	従事年数	資 本 金	
				従 業 員 数

(業 種 一 覧)

0001	食料品製造業	0011	プラスチック製品製造業	0021	電子部品・デバイス製造業	0031	卸売・小売業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0012	ゴム製品製造業	0022	輸送用機械器具製造業	0032	金融・保険業
0003	繊維工業 (0004を除く)	0013	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	精密機械器具製造業	0033	不動産業
0004	衣服・その他の繊維製品製造業	0014	窯業・土石製品製造業	0024	その他の製造業	0034	飲食店、宿泊業
0005	木材・木製品製造業(0006を除く)	0015	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0035	医療、福祉
0006	家具・装備品製造業	0016	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0036	教育、学習支援業
0007	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	金属製品製造業	0027	建設業	0037	複合サービス事業
0008	印刷・同関連業	0018	一般機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0038	その他サービス業
0009	化学工業	0019	電気機械器具製造業	0029	情報通信業	0039	公務
0010	石油製品・石炭製品製造業	0020	情報通信機械器具製造業	0030	運輸業	0040	分類不能の産業

(ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡など研修目的以外には使用しません。)